

NEWS RELEASE

2018年10月18日

信用金庫、KUMONとの「認知症予防セミナー」の共催について

フコクしんらい生命保険株式会社(本社：東京都新宿区西新宿8-17-1、社長：櫻井健司)は、株式会社公文教育研究会(以下「KUMON」)と当社の主要代理店である信用金庫とともに、2018年10月より、「認知症予防セミナー ～脳の健康を保ち、イキイキ生活する秘訣～」を開催することをお知らせします。

当社は、認知症を正しく理解し、すべての高齢者およびその家族が安心して暮らせる地域社会作りに貢献するため、業務提携先であるKUMONの“高齢者の脳機能の活性化”と“認知症の進行抑止・改善および予防の取組み”に関する経験・知見を活用し、地域密着で活動する各信用金庫とともに認知症予防セミナーを開催してまいります。

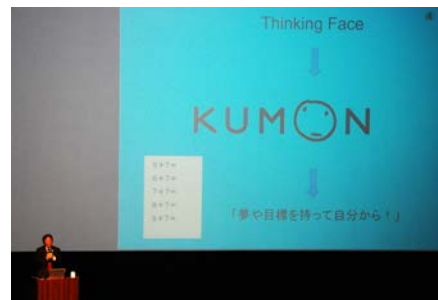
認知症、当社とKUMONとの業務提携については、[別紙](#)をご参照ください。

第1回の認知症予防セミナーは、10月11日(木)に福岡県大川市にて開催しました。今後、2019年3月までに全国20カ所での開催を計画しており、開催内容については、順次、各信用金庫を通じて案内してまいります。また、開催の様子については、当社ホームページの「お知らせ」にて公開してまいります。

<大川市での認知症予防セミナーの概要>

セミナーでは、認知症や脳に関する知識のレクチャーに始まり、認知症がテーマのドキュメンタリー映画「僕がジョンと呼ばれるまで」の上映や家庭で出来る頭の体操などが、講師のKUMON学習療法センター副代表の伊藤真治氏の説明のもと行われました。当日は、大川信用金庫のお客さまなど約300名の方にご参加いただきました。

日程：2018年10月11日(木)
会場：大川シネマホール(福岡県大川市)
主催：大川市、大川信用金庫、KUMON学習療法センター、フコクしんらい生命保険株式会社



以上

認知症、フコクしんらい生命とKUMONの業務提携の背景**■認知症について**

日本は今、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えております。中でも年々増え続ける認知症高齢者とその介護の問題は、現代日本の最優先課題のひとつといえます。日本人の平均寿命は確実に伸び続け、人生100年時代がもうそこまで来ておりますが、そのような中、健康寿命をどう延ばしていくかが大きな関心事となっております。

要介護認定者数は平均寿命の伸びに伴い増加の一途をたどり、介護離職や老老介護など身近で深刻な社会課題となっております。また、認知症発症者数も毎年増え続けており、2025年には65歳以上では5人に1人が認知症患者になるという推計もされております。

認知症は、早期に発見されて適切な対応を受けることで、認知症になってもその人らしく生きることができると言われております。一方で、誤解や偏見により、当事者や家族が苦しんでいることも少なくありません。

■認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進にむけた業務提携**<フコクしんらい生命とKUMONの提携内容>**

認知症に関する正しい知識の普及・啓発を企図し、KUMONの事業部門の一つである学習療法センターが展開する「学習療法[®]（注1）」と「脳の健康教室[®]（注2）」で得た経験・知見を活用し、セミナーを開催してまいります。そして、本セミナーを、主にフコクしんらい生命の主要な販売チャネルである信用金庫と共に開催することで、認知症の当事者およびその家族が安心して暮らせる地域社会作りに貢献してまいります。

また、本業務提携をとおして、フコクしんらい生命は、KUMONが展開する「学習療法[®]」と「脳の健康教室[®]」をフコクしんらい生命のお客さまに対して推奨することを検討してまいります。

さらに、脳機能の維持・改善に効果があることが科学的に実証されている「学習療法[®]」を、新たな保険商品・サービスの開発に活かすことにおいても、KUMONの協力を仰ぎながら検討を進めてまいります。

<両社の強み>

◆KUMONは、1958年の創立以来、一人ひとりの可能性の追求を目指す教育法として実践を積み重ね、2001年に読み書き計算が人の脳にどのような効果を及ぼしているのかを、国の助成を受けて、東北大学・川島隆太教授、福岡県の社会福祉法人・道海永寿会との三者による共同研究で明らかにしようとなりました。そして、2001年から3年間にわたる研究の結果、簡単な読み書き計算とコミュニケーションが、人の前頭前野を活性化し、認知症高齢者の脳機能の維持・改善をはかり、認知症予防にも効果があることが明らかになりま

した。

KUMONはこの研究結果を受け、2004年に学習療法センターを設立、高齢者の脳機能の活性化と認知症の進行抑止・改善及び予防の取組みとして、「学習療法®」「脳の健康教室®」の2つの事業をスタートさせました。

このような経緯で誕生した「学習療法®」「脳の健康教室®」ですが、10年以上の実践を経て、新たな効果も生み出しています。「学習療法®」の取組みでは、「学習療法®」が認知症の維持・改善効果だけでなく、それに関わる介護施設職員の成長や学習者のご家族との信頼づくり、さらには、学習者自身の生活の質の改善やケアにまで活かせること。また、「脳の健康教室®」では「教室」が認知症予防の効果をもたらすだけでなく、高齢者の新たな「仲間づくりの場」、「地域の通いの場」の役割を果たし、教室を支える地域ボランティアの方々の活動は「地域づくり」の取組みにまで進化していることなどです。

◆フコクしんらい生命は、富国生命保険相互会社のグループ会社であり、代理店チャネルによる生命保険商品の販売に特化した専門会社として、経営を展開しております。

特に、金融機関代理店チャネルによる保険販売においては、ほぼすべての信用金庫（2018年9月末現在 257 金庫）と取引をしており、地域を支える役割を担っている信用金庫業界に対し、販売手法も含めて生命保険という商品を提供することにより、地域で事業を営む人や働く人、暮らしている人たちに安心を提供しております。

また、2018年4月に『認知症診断給付金付「介護保障定期保険特約」』を発売いたしました。本特約は、急速に進展する高齢化社会の中で、自助努力により認知症や介護に備えるニーズが高まっている現状を踏まえ、早期診断・早期治療が重要とされる認知症に対する診断給付金、また、公的介護保険制度の要介護2以上の認定に対する介護保険金などの保障を準備するための商品として開発いたしました。

（注1）＜学習療法®＞

2001年から行った、東北大学・川島 隆太教授、福岡県の社会福祉法人・道海永寿会、KUMONによる共同研究で、認知症高齢者の脳機能の維持・改善に効果があることが科学的に実証された非薬物療法。2018年3月現在、日本国内約1,400の高齢者施設で導入されています。

また、2012年から、アメリカでの展開を開始。2018年3月現在、アメリカの11州、26施設で認知症高齢者が学習療法を行っています。

（注2）＜脳の健康教室®＞

「学習療法®」のプログラムを応用し、地域のシニア世代のための脳の健康づくりを行う教室。この教室を通じて受講者の脳の健康づくり（認知症予防）を図るとともに、受講者や教室サポーターの方々が仲間をつくり、社会とのつながりを深め、地域のコミュニティづくりへの貢献をめざしています。

2017年度、約210の自治体で、約410の教室が開講されています。

以 上